

総 括

平成２９年度一般会計・特別会計の歳入歳出決算及び基金運用状況審査の結果を総括すると次のとおりである。

１．平成２９年度決算の状況について

当年度における一般会計に特別会計を加えた歳入の決算額は45,117,029,611円で、前年度と比較して989,037,582円（2.1％）の減、歳出の決算額は43,664,467,403円で、前年度と比較して1,203,406,346円（2.7％）の減となっている。

（１）一般会計の決算状況について

当年度の一般会計決算額は、歳入が29,095,806,189円、歳出が28,314,502,136円となっており、前年度と比較して歳入が793,078,130円（2.7％）の減、歳出も834,849,497円（2.9％）の減となっている。歳入歳出差引額は781,304,053円で、前年度と比較して41,771,367円（5.6％）の増となっている。

歳入で最も構成割合の高い地方交付税は、決算額が8,657,276,000円で、前年度と比較して261,233,000円（2.9％）の減となっている。これは、合併算定替えの特例措置の段階的縮減などによるもので、今後、普通交付税は、さらに減少が続くものと見込まれている。

自主財源の市税については、収入済額が6,155,552,672円で、前年度と比較して199,120,592円（3.3％）の増となっている。給与所得及び農業所得の増加による個人市民税や大規模風力発電設備の新設による償却資産の固定資産税が増となったことにより、全体でも増収となった。

歳出については、庁舎整備事業費の減などにより、前年度と比較して減となっている。

（２）特別会計の決算状況について

特別会計全体の決算額は、歳入が16,021,223,422円、歳出が15,349,965,267円となっており、前年度と比較して歳入が195,959,452円（1.2％）の減、歳出も368,556,849円（2.3％）の減となっている。

特別会計における一般会計からの繰入金は1,777,087,926円で、前年度と比較して10,532,316円（0.6％）の増となっている。また、特別会計全体の市債現在高は1,871,608,362円で、このうち簡易水道事業特別会計の現在高が1,568,703,005円と約8割を占めている。

2. 平成29年度決算の内容等について

当年度は、昨年度に引き続き、市税収入は増となったが、地方交付税は減少し、臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税も減となった。

財政調整基金の残高については、21年度以降、毎年度増加してきたが、当年度は減少となった。

実質単年度収支は、前年度と比較して47,392,871円（29.4%）の増となり、赤字額は減少したが依然として、113,763,111円の赤字となっている。これは、単年度収支が前年度と比較して316,854,426円増の90,801,797円の黒字となったことや財政調整基金積立金が前年度と比較して113,142,903円減の325,664,661円、積立金の取り崩しが156,318,652円増の530,229,569円となったことが要因である。

（1）普通会計における財政状況について

普通会計における財政の構造については、歳入では自主財源の構成比率が31.9%で、前年度と比較して2.0ポイントの増、依存財源の構成比率は68.1%で、前年度と比較して2.0ポイントの減となっている。決算額では自主財源が前年度と比較して増となり、依存財源は減となっている。

歳出では義務的経費の構成比率が42.4%で、前年度と比較して0.4ポイントの増となった。これは、義務的経費の決算額が前年度と比較して減となったが、義務的経費以外でも庁舎整備事業費等の投資的経費などが減となり、増加率の関係で義務的経費の比率が増となっている。

また、経常収支比率は91.2%で、前年度と比較して0.1ポイントの増となっている。性質別の経常収支比率を類似団体と比較してみると、補助費等や繰出金などで類似団体を上回っているものの、人件費や物件費等については下回っている。全体では、類似団体より0.7ポイント上回っている。

（2）市税等の収入率、収入未済額等について

市税の収入率は91.7%で、前年度と比較して1.0ポイントの増となっている。

市税以外の収入率の主な状況は、市営住宅使用料（家賃）の収入率が82.1%で、前年度と比較して0.2ポイントの減となっている。

収入未済額については、市税で前年度と比較して52,593,943円（8.6%）減の559,195,711円となっている。

市税については、徴収強化に取り組んでいる姿勢が見られ、現年課税分・滞納繰越分とも収入率向上につながっていることは評価すべきところである。

市税以外の収入未済額は、保育所入所負担金（滞納繰越）や市営住宅（滞納繰越）の使用料等が減となっているが、市営住宅（現年）の使用料等は増となっている。今後も各課のマニュアル等に基づき、なお一層の取り組みをされたい。

不納欠損の状況については、市税で前年度と比較して15,755,828円（103.4%）増の30,990,034円となっており、固定資産税の不納欠損額の増が主な要因となっている。

（３）市債について

一般会計の市債現在高は33,213,277,507円で、庁舎整備事業に伴う借入れは減少したが、借入額が償還額より多いことから、前年度と比較して920,118,014円（2.8％）の増となった。特別会計では、簡易水道事業特別会計で前年度と比較して78,658,963円（5.3％）の増となり、特別会計全体では60,972,253円（3.4％）増の1,871,608,362円となっている。

一般会計の29年度借入額は3,618,900,000円で、この借入額には交付税措置される有利な起債である合併特例債、過疎対策債、実質的な地方交付税である臨時財政対策債などが含まれており、市が実質負担する額は借入額の約22.5％相当、813,933,000円と見込まれている。

今後も、実質公債費比率を勘案しながら、交付税措置される有利なものの活用や平準化を意識するなど、後年度の負担軽減を考慮し、計画的な事業実施に努められたい。

（４）予算流用、予備費充用について

一般会計の予算流用については、38件2,071,792円、予備費充用は、21件5,834,454円となっている。

特別会計の予算流用については、浄化槽整備特別会計が1件6,420円、国民健康保険特別会計が1件100,107円、介護保険特別会計（保険事業勘定）が5件39,395,177円となっている。予備費充用はなかった。

一般会計、特別会計とも補助事業の整理や突発的なものに対応するための予算流用、予備費充用であった。

（５）不用額について

一般会計の不用額は、951,314,094円で、前年度と比較して160,333,920円（20.3％）の増となっている。

特別会計の不用額は全体で、634,699,733円で、前年度と比較して64,453,849円（11.3％）の増となっている。これは、国民健康保険特別会計の予備費の不用額が前年度と比較して105,135,000円（91.8％）増の219,655,000円となったことが主な要因である。

一般会計、特別会計とも、減額すべきものは予算の整理に努めており、予算に対する執行率からみても、一般会計94.5％、特別会計96.0％と特段問題はないと見受けられた。

3. むすび

29年度の決算では、いずれの会計でも実質収支の赤字はなく、一般会計における財政調整基金残高は、前年度より2億円ほど減少となったが、54億円を超えている状況にはある。また、財政の健全化を示す実質公債費比率、将来負担比率等は、いずれも健全な数値を示している。これらの状況や決算内容等から総合的に判断すると、29年度の財政運営は、概ね適正、かつ堅実に行われ、決算時点での財政状況は、経常収支比率等、厳しさを増している面もあるが、総体的には健全な範囲であると認められる。

そうした中で、留意しなければならないのは、一般会計において、赤字額は減少となったが、実質的な財政状況を表す、実質単年度収支が2年続けて赤字となったことである。また、財政調整基金の残高について、21年度以降、積み増ししてきたが、当年度は、取り崩しが多く、残高が減少となったことである。

今後も人口減少や少子高齢化の進行に伴う様々な課題、合併算定替の特例措置の縮減による地方交付税の減少など、財政状況は一段と厳しさを増していくと見込まれる。

こうした財政見通しの中、これまでも健全な財政運営の確保に努めてきているが、さらに進めていくためには、行財政改革の観点から施策・事業全般の継続的な見直し等が求められる。

30年度スタートした「第2次能代市行財政改革大綱」に基づく取り組みを推進するとともに、「第2次能代市総合計画」等で進められる施策・事業の評価とそれに伴う見直しやスクラップ&ビルド（廃止・縮小による再編）等が適切に行われるよう努められたい。

終わりに、当年度は総合計画後期基本計画の最終年として、「能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を重点的に推進し、課題解決に取り組んできたところである。

現在、「第2次能代市総合計画」において、今後10年間の新たなまちづくりの方向性が示されている。市民が“こころ”“からだ”“もの”の豊かさを実感できるよう、各種施策、事業を計画的、かつ積極的に推進するとともに、将来に安心感が持てる、持続可能な行財政運営の確立を望むものである。